いいまちづくり観音寺輝き隊通信

令和七年二月一日 発行

文責：大西
編集：白川

【琴弾公園の今昔物語 ①】

《西山 彰》

県立琴弾公園は明治32年11月に開園式を挙行しています。このことは香川県政史年表や観音寺市誌に記述されていますが、当時〔**琴弾公園の開設に貢献した人たち**〕の一人として西山彰が挙げられています。

西山彰は琴弾公園の広大な敷地の一部を提供し、私財を投じて基礎工事を遂行しました。これらの大きな業績があってこそ、公園の設立が実現されたと考えられます。彼は徳島県阿波半田の松浦家の三男として生まれ、10歳の時に観音寺市の京極藩筆頭大庄屋西山家の西山茂登彦氏（叔父）の養子となり、明治21年に29歳で家督を継ぎました。以来、彼は志を常に公益に傾け、徳島県美馬～琴平線の改修工事、財田川堤防修築工事、貧困家庭の救済などに莫大な費用を寄付しています。また、県会議員や衆議院議員を務めたのち昭和7年に観音寺町長に就任し、昭和11年まで地域の発展のために力を注ぎました。実業界でも活躍し郷土の発展に尽力しています。昭和18年に83歳で逝去されました。

◇◆公園清掃日について◆◇

今月の清掃日は**2月3日**です。

午前八時～九時（雨天：2月10日）

琴弾公園の池付近に集合

みんなでいい汗を流しましょう。

※問い合わせ080-3211-1962

【琴弾公園クイズ 70】

公園内には野外音楽堂がありますが今から何年くらい前に建てられたものでしょうか？

①約20年前　②約30年前　③約40年前

寛談雑永

二〇二五年の節分は二月二日、恵方は「西南西やや西」だそうです。節分に恵方巻を食べるという習慣は「戦国時代に武将が巻き寿司を丸かじりをして出陣したから」とか、「江戸中期の商売繁盛祈願から始まった」とか、諸説ありますが、私が子どもの頃にはこの風習は無かったように思います。一般に広がったのはここ三十年くらいでしょうか。仕掛け人はどうやらコンビニのようです。主婦にとっては今日のメニューを考えなくていいのはすごくありがたいので、すぐに流行に乗ることにしました。七福神にちなんで、七種類の具を使い、恵方に向かって無言の笑顔で丸かじり。なかなかに不気味な光景ではあります。

(M)

◆いいまちづくり観音寺輝き隊◆

私たちは「琴弾公園の魅力を高めること」を主な目的にしている小さな団体です。歴史的なものを見直し郷土愛を高め、まちを、もっと元気にしようと頑張っています。

『輝き隊通信バックナンバー』と検索または下のQRコードからこの通信のバックナンバーを見ることができます。また観音寺市のホームページからも輝き隊通信は閲覧できます。

https://kagayakitai.amebaownd.com/